

沖縄銀行は
ピープルズバンクを目指します。



皆さま方には平素より私ども沖縄銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

当行は昭和31年の創立以来、「地域密着・地域貢献」という経営理念のもと、地域の中核金融機関として地域経済の発展とともに成長し、今日の基盤を築き上げてまいりました。これもひとえに地域の皆さまや株主の皆さまからの永年にわたる温かいご支援の賜と深く感謝いたしております。

このたび、当行についてのご理解をより一層深めていただくために、ここに「沖縄銀行ディスクロージャー誌2013中間期」(平成25年4月1日～平成25年9月30日)を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

国内経済は、輸出の持ち直しの動きに加えて、生産も緩やかに増加し企業収益は回復の動きがみられます。雇用情勢も改善傾向にあり、個人消費に力強さがみられたことから、回復の動きが確かなものとなりました。県内景況においても、個人消費関連において、太陽光パネルや自動車などの耐久消費財の売上げが増加したほか、建設、観光関連など主要項目が底堅く推移し、総じて拡大の動きが強まっております。

このような環境のもと、地域金融機関には地元企業の経営支援や地域活性化への取り組みに対する期待が高まっており、その役割は益々重要になってきております。

こうしたなか、平成25年度より期間を2年間とする新中期経営計画「SPEED&SPIRITS」を策定・実施しております。当行をとりまく如何なる変化にも機動的に対応する「SPEED経営」を継続するとともに、全ての業務をお客さまの立場になって取り組むとする「お客さま目線＝おきぎんスピリッツ」を実践してまいります。

「地域ナンバーワンバンクの『真価の発揮』」を基本方針とし、「お客さま目線に立った経営戦略」に基づく各施策の着実な実行により、これまで培ってきたお客さまとのリレーションの更なる強化に努め、より高次の金融サービスを提供することで地域社会の発展に貢献してまいります。

当行は、常にお客さまの期待に応え、地域社会に愛され、親しまれる銀行「ピープルズ・バンク」として、役職員一丸となってさらなる経営内容の充実、サービス向上に努めてまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも引き続き格別のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年1月

取締役頭取

玉城義昭